

ハードウェアのLCMとSAMの密接な関係

ソフトウェア資産管理評価認定協会

監事 中井史郎

2016年6月10日

自己紹介

➤ 講師の略歴

横河レンタ・リースでPC資産管理に携わって10年以上になります。

PCのレンタルビジネスを通してPCの管理者の課題に日々向き合っております。

2013年からSAMAC認定コンサルタントとして活動を行っております。

➤ 本セッション参加者の課題

- ◆ PC管理者としてやることが沢山あって、SAMまで手が回らない。
- ◆ でもソフトウェアメーカーの調査依頼は気になっている。
- ◆ 少ない人数でPCの管理を行っている。ハードウェアの変更管理に手間取っている。
- ◆ SAM構築の決裁が通らない（予算がつかない）

本日のアジェンダ

1. ソフトウェア資産管理の復習
2. ハードウェア管理のポイント
3. ライセンス管理が出来ている状態
4. 管理体制の構築に向けて
5. まず現状把握

ソフトウェア資産管理の復習

ソフトウェア資産管理の目的

1. ビジネスリスク管理

- コンプライアンスリスクへの対応
- 情報セキュリティリスクへの対応

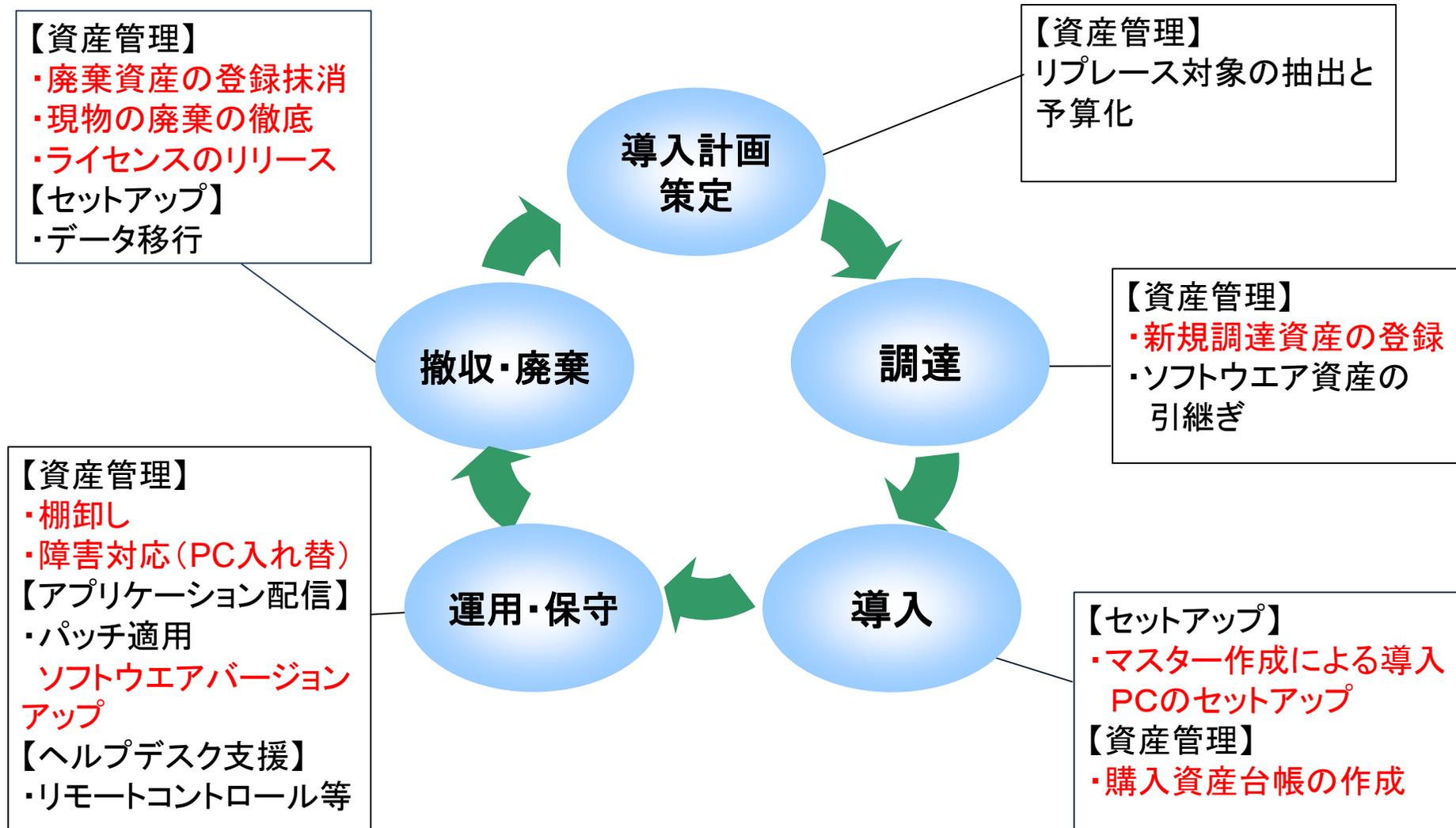
2. コストの管理

- 購入コストの最適化
- 運用コストの最適化

3. 競争上の優位性の確保

- ITガバナンス強化による優位性の確保

PCのライフサイクル



SAMを実施するために必要な台帳

ライセンス管理の基本は以下の4つの台帳を高い精度で管理することにあります。

1. ハードウェア台帳

2. インストールソフトウェア台帳

3. 購入ライセンス台帳

4. 付属品台帳

ハードウェア管理のポイント

ハードウェア台帳

ハードウェア台帳は所有するすべてのハードウェアが対象になります。ソフトウェアライセンス管理の精度向上は、ハードウェアの台帳の精度向上なくしては実現しません。

ハードウェアを管理
する上での必要最低
限の項目を列挙して
います。通常、さら
に様々な項目が必要
になります。

ハードウェア管理台帳	項目例
利用区分	購入、レンタル、リース
ハードウェア管理番号	
メーカー名	HP、DELL、NEC等
OS	Windows、 Mac等
機種情報	Thinkpad 等
シリアル番号	
コンピュータ名	N3129
CPU数	サーバの場合
設置場所	サーバの場合
管理者名	
管理部署	マーケティング
廃棄年月日	
最終更新日	2016年6月10日
最終更新者氏名	

ハードウェア台帳

管理番号	現契約開始日	現契約終了日	カテゴリ名	メーカー名	形名	スペック1	スペック2	シリアルNo	マスターNo
2359093	2015/12/1	2015/12/31	A4ノートPC	DELL	Latitude D630(WXP)	Core2Duo 2000MHz	1024MB	1BWB9BX	2015*3
2458394	2015/12/1	2015/12/31	A4ノートPC	DELL	Latitude D630(WXP)	Core2Duo 2000MHz	1024MB	G17KDBX	2015*2
2824718	2015/12/12	2016/1/11	デスクトップPC	DELL	Optiplex 760 2930SFF	Core2Duo 2930MHz	2048MB	BBD6PBX	2015*3
3032997	2015/11/25	2015/12/24	デスクトップPC	DELL	Optiplex 780 2930SFF	Core2Duo 2930MHz	2048MB	12KTRBX	2015*2
3237699	2015/12/24	2016/1/23	B5ノートPC	パナソニック	CF-S10EWHDS(Let's N)	Corei5 2600MHz	4096MB	1LKSA36600	2015*2
3521647	2013/3/1	2016/2/29	B5ノートPC	NEC	PC-VK19SGZDF(Versa	Corei7 1900MHz	4096MB	31011581A	2013*2

導入時ハードウェア管理台帳（例）

上記の台帳は一つの例ですが、導入時の状況を管理している台帳を例に記載しています。このハードウェアの購入台帳とインベントリツールとのデータの連携を図ることによってさらに精度の高いハードウェアの管理が可能になります。

1. 管理番号 ハードウェア管理番号として利用
2. 契約開始日 マスターに入っているソフトウェアの利用開始日
3. 契約終了 廃棄予定日
4. シリアルNo お使いの管理ツールと管理台帳を連携する項目として利用
5. マスターNo PCをインストールしたマスターの管理番号

PC入れ替え時の注意点

多くの企業で標準PCのマスターを作成して、PCの導入や、障害対応による入れ替えを行っています。

マスター毎にソフトウェアの契約が異なっている場合には、どのPCでどのマスターを利用しているかを管理する必要があります。

先のスライドで紹介した台帳の最後に適応マスターのNoを記載しています。

マスターの使用状況を管理をしていかないと、入れ替えや、追加PCのインストールで知らない間にライセンスの超過を起こしてしまいます。

オフラインPCの管理が盲点になっていませんか

ネットワークに接続されたPCであれば、ツールの導入を確実に行えば管理の網羅性を高めることは可能です。オフラインのPCは管理対象から外れやすく、ツールが未導入の場合が多いです。自動的にシリアルNoもコンピュータ名も取得することができず、管理対象外になっている例があります。



製造・研究現場などでオフラインで利用されているPCの例

現状把握への取り組み（現地棚卸し）

先にも述べたように、オフラインPCも含めて棚卸しする準備が必要になります。例えば、オフラインPCにUSBメモリーを差込、管理者権限でインベントリー収集プログラムを実行するとインベントリー情報が収集されます。（方法はツールに依存します）

- ◆ コンピュータに貼るハードウェア管理番号シールの準備
- ◆ PCを出来るだけ、まとめておいて作業を行うこと。
作業効率のためだけでなく、取りこぼしのないように準備する。
- ◆ 今後の管理のために、情シス用のアドミン
アカウントの作成も検討。（特にオフラインPCの場合）



廃棄にご注意ください

廃棄フェーズも、ハードウェアの管理では大きなリスクを持っています。

レンタル品やリース品は契約満了になれば業者が引き取ります。しかしながら、購入したPCはいつまでも使用者の机や棚に眠っている可能性があります。

- ◆ 廃棄したPCのソフトウェアの購入ライセンスを証明する記録が失われている
- ◆ 正規のライセンスの証明が出来ないとライセンスの再購入を求められる可能性があります。
- ◆ 廃棄PCがライセンス管理上のリスクになるケースがあります。棚卸し時に廃棄作業の徹底をお願いします。

ライセンス管理が出来てる状態

ライセンス管理が出来ている状態

購入ライセンスと利用ソフトウェアの突合せが出来ている状態をもってライセンス管理ができています。

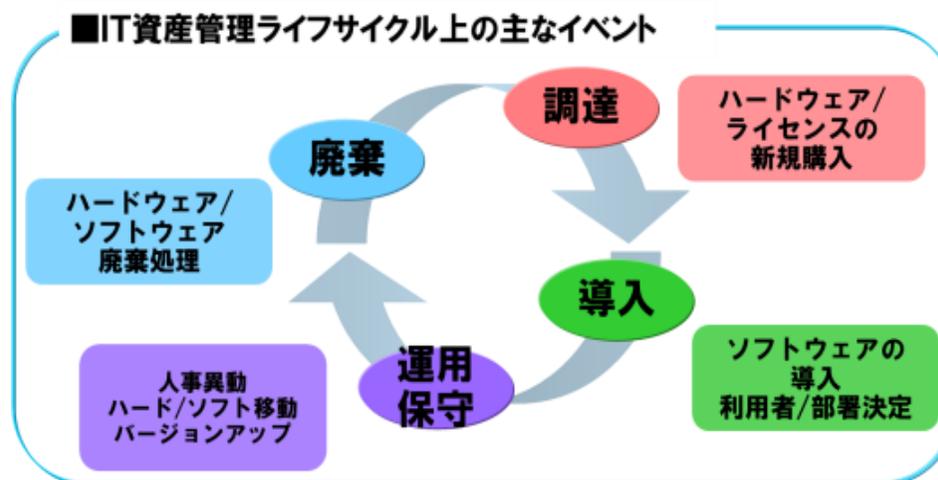
ソフトウェア管理台帳	項目例
ソフトウェアID	ソフトウェアリストと結びつけるID
ハードウェア管理番号	
ライセンス付属品管理番号	1324
インベントリー名称	Microsoft Office Professional Plus 2013
備考	ダウングレードの有無等
最終更新日	
最終更者氏名	

購入ライセンス管理台帳	項目例
ソフトウェアID	ソフトウェアを認識するID
保有ライセンス数	利用可能な数量
現使用数	申請ベースかインベントリーで判断
ライセンス契約種別	プレインストール、ボリューム、パッケージ
ライセンス証書番号	
アップグレード区分	アップグレード利用か否か
元ライセンス	アップグレード利用時に記載
ダウングレード条件	
ライセンス単位	デバイス、ユーザ CPU
契約期間	サブスクリプションの場合
管理部署	
管理者氏名	
廃棄日	
最終更新日	
最終更新者氏名	

ライセンス管理が出来ている状態

ライセンス管理の精度を高めるためには、調達から廃棄までを管理する必要があります。ソフトウェアのライフサイクルの各フェーズで、そこに関わる関係者の協力が必要になります。そのため、ソフトウェアライセンス管理は全社で取り組まなければ効果が出せません。

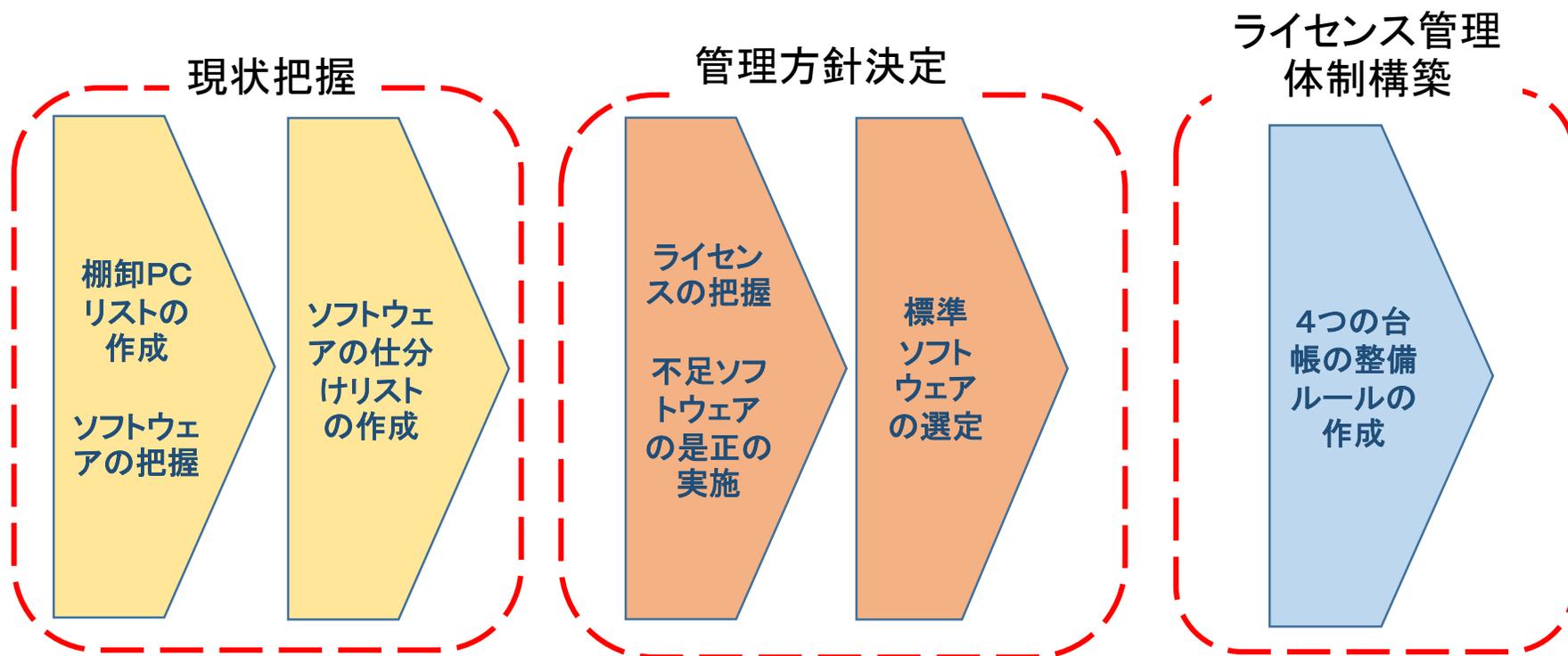
管理ルールの作成から関係者への周知徹底まで経営層の協力が不可欠になっております。



管理体制の構築に向けて

ライセンス管理体制構築（例）

現状把握から管理体制構築まで



ソフトウェアの仕分け（ソフトウェア辞書の利用）

有償ソフトウェア Microsoft社（サンプル）

有償・無償・ドライバ（ソフトウェア辞書による仕分け）

レジストリ登録ソフトウェア名称	①仕分け種別	製造元	②インストール台数
Microsoft Office 2000 SR-1 Personal	有償ソフトウェア	Microsoft	
Microsoft Office 2000 SR-1 Premium	有償ソフトウェア	Microsoft	
Microsoft Office 2000 SR-1 Professional	有償ソフトウェア	Microsoft	
Microsoft Office Personal Edition 2003	有償ソフトウェア	Microsoft	
Microsoft Office Professional Edition 2003	有償ソフトウェア	Microsoft	★
Microsoft Office Standard Edition 2003	有償ソフトウェア	Microsoft	
Microsoft Office Personal 2007	有償ソフトウェア	Microsoft	
Microsoft Office Professional Plus 2007	有償ソフトウェア	Microsoft	★
Microsoft Office Home and Business 2010	有償ソフトウェア	Microsoft	
Microsoft Office Personal 2010	有償ソフトウェア	Microsoft	
Microsoft Office Professional 2010	有償ソフトウェア	Microsoft	
Microsoft Office Professional Plus 2010	有償ソフトウェア	Microsoft	
Microsoft Office Personal 2013 - ja-jp	有償ソフトウェア	Microsoft	
Microsoft Office Professional 2013 - ja-jp	有償ソフトウェア	Microsoft	
Microsoft Office 97 Powered by Word 98, Standard Edition	有償ソフトウェア	Microsoft	
Microsoft Office 97, Professional Edition	有償ソフトウェア	Microsoft	
Microsoft Office Excel 2007	有償ソフトウェア	Microsoft	

③不足ソフトウェアライセンスの是正金額のシュミレーション
 （購入数－利用数） × ソフトウェアの定価
 和解金 = ライセンス定価 × 1.5

標準ソフトウェアの選定

ソフトウェア選定の社内ルールの確立や、PCのマスターイメージ管理にも重要な仕分けになります。

利用ソフトウェアの
利用数の分析

利用者数の多いソフトウェアから上位を
目安に標準ソフトウェアとしてリストアップ

標準・個別ソフト
ウェアの決定

標準ソフトウェア以外で業務に必要なソフトを
各部署から申請してもらう

調査対象ライセン
スの周知

標準ソフトウェア、個別ソフトウェアを全社
に通知、これ以外は不適切なソフトウェアとして
利用禁止を周知します。

まず現状把握

現状把握

ソフトウェア資産管理は全社の協力を得なければ成功できません。部署内のコンセンサス作り、経営層による支援が不可欠になります。そのためにも現状を明確に把握する必要があります。

部署内への啓蒙活動

- 勉強会
- 課題共有ワークショップ
- 不正コピー防止検討会

現状把握

- 既存ツールのインベントリー情報の評価
- オフラインPCの棚卸し

経営層への説明

- 実データを利用したリスク評価
- 購入履歴不明ライセンス費用のシュミレーション

The logo for SAMAC consists of the letters S, A, M, M, A, and C. The 'S' and 'C' are red, while the two 'M's are blue. The letters are stylized and connected at the base.

一般社団法人 ソフトウェア資産管理評価認定協会